

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 004	日本の歴史と部落問題 1. 前近代 2. 近代 3. 現代 (人権教育)	各60 (3本 組)	小学生 以 上	日本の歴史を、被差別民衆や同和地区からの視点で解説。 1問5分の間答形式で簡潔に説明する。必要な項目を組み 合わせての利用も可能。解説書付。	01.12
ビ 033	渋染一揆に学ぶ (人権教育)	17	小学生 以 上	渋染一揆を素材に、江戸時代の身分制度と厳しい差別政 策、被差別部落の人々の闘いを学ぶ。	06.03
ビ 061	ぼっぼちゃんの めにつき (人権教育) 《字幕入》	40	小学生 以 上	ぼっぼちゃん、生まれた時から耳が不自由な、元気いっ ぱいの11歳。東京の下町で、両親はラーメン屋さんを営んで います。ぼっぼちゃんの目を通し、家族との関わり、障がい 児教育のあり方や日本社会の閉鎖性などを描きます。	08.10
ビ 066	二匹の猫と 元気な家族 (人権教育) (アニメーション)	25	小学生 以 上	小学校5年生のかおる一家は、神戸の震災の後、父の転勤 で東京に引越して来ました。両親・姉弟・二匹の猫のそれぞ れが、新生活の中で様々な出来事に遭遇し、『お互いがよく 知り合うこと』の大切さを学んでいきます。	09.11
ビ 021 ①	人の世に熱あれ 人間に光あれ (人権教育)	40	中学生 以 上	【1. 前近代】 部落差別はいつ頃から、何故どのように生じたのか。縄文 時代以前から幕末までの国家・社会の変遷と、その中での差 別のつくられ方を学ぶ。	04.07
ビ 021 ②	人の世に熱あれ 人間に光あれ (人権教育)	40	中学生 以 上	【2. 近代】 近世、封建的な支配を強化するために生み出された部落差 別が、明治維新を経た近代の日本社会で、どのように変わっ たかを学ぶ。	04.07
ビ 021 ③	人の世に熱あれ 人間に光あれ (人権教育)	45	中学生 以 上	【3. 現代】 人権尊重を掲げる新憲法によって、部落差別は解消して行 くかに思われたが、今もなお続いているのは何故なのか。戦 後、差別を無くすために、どのような取り組みがあったかを 検証する。	04.07
ビ 022	住井すゑ 九十歳の人間宣言 (人権教育)	90	中学生 以 上	1992年6月19日、日本武道館での『橋のない川』第7部出 版記念講演会の模様を収録。	05.03
ビ 026	被差別部落の 成り立ちに学ぶ (人権教育)	50	中学生 以 上	1. 被差別部落はいかにしてできたか 2. 様々な被差別部落の成り立ち 3. 被差別民衆が担った芸能文化	05.11
ビ 027	橋のない川 (人権教育)	139	中学生 以 上	人間の尊厳を掲げ、敢然と立ち上がっていく被差別部落の 人々の、全国水平社結成に至るまでの闘いの歴史を描く。 明治・大正の奈良の農村に生まれた兄弟の成長を通して、 真の人間の豊かさとは何であるかを問う、情感溢れる人間解 放のドラマ。	05.11

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 034	全国水平社の 思想と闘いに 学ぶ (人権教育)	48	中学生 以 上	1. 全国水平社の創立 2. 水平社の思想と闘い 3. 水平社の組織と人びと	06.03
ビ 040	男女平等を 考える (人権教育)	24	中学生 以 上	かつて女性はどうのように差別され、その後、女性の社会的地位はどうのように向上して行ったのか。男女が平等に生きる社会を実現するために、残された課題は何かを考える。	06.11
ビ 058	勇気ある選択 (人権教育)	25	中学生 以 上	偶然いじめを目撃した誠は、親友に相談するが、「誰かに言えば、今度はおまえがやられる。誰にも言うな。」と、突ばねられる。どうするべきか誠は悩む。	08.04
ビ 059	①車椅子の介助 ②視覚障がい者の介助 ③聴覚障がい者とのコミュニケーション (人権教育)	①9 ②10 ③9	中学生 以 上	① 段差の越え方、坂道・階段等の介助 ② 階段・エスカレーター・レストランでの誘導 ③ 口話、明確な文章表現、代理電話等	08.04
ビ 100	人権ショートストーリー 山本家の場合 (人権教育)	13	中学生 以 上	(第1話) 男女平等の日 (第2話) 仏滅鬼門 (第3話) 縁談と釣書 (第4話) 親子の友情 私たちは日頃、気がつかないままに人を傷つけていることがあります。自分を振り返ってみましょう。	12.06
ビ 156	ステップ！ (人権教育) 《字幕入》	54	中学生 以 上	ビジネスホテルの客室係として働くことになった障がいのある八重（22歳）は、なかなか仕事が覚えられず、家で毎日ベッドメイキングの練習をしている。まわりの人が八重の障がいについて正しく理解していく姿をとおして、共生社会の実現について考える。	18.05
ビ 101	らくがき (人権教育)	35	高校生 以 上	魚釣りに来た明男たち高校生3人は、駅のトイレで差別落書を見つける。少し前には落書きは無かったと言う駅員さん。バスで海まで一緒に来た人たちの中に落書きをした人がいるのではないかと、明男は釣りどころではなかった。	13.02
ビ 029	四つの終止符 (人権教育)	109	成 人	町工場で働く耳の不自由な青年が、病弱な母に栄養剤を与えた事が逆に母の死を招き、殺人の容疑をかけられる。青年は無実を訴えるが、相手に十分に通じず、やり場のない悲しみの中で自ら命を絶ってしまう。 青年の遺した言葉が、胸をえぐる。	05.11
ビ 032	けがれと 差別意識 (人権教育)	54	成 人	私たち日本人の心の底には『けがれ』を忌むといった意識が、今もなお根強く残っている。差別を生む日本人の精神構造の核心に迫りながら、芸能や庭園造りをはじめ、数々の芸術を生んだ人々の歴史を見つめ直す。	06.03
ビ 047	家族の条件 (人権教育) 《字幕入》	83	成 人	祖父保太郎と二人暮らしの優子は、バンド仲間の孝に結婚を申し込まれる。しかし、孝の家族が結婚に難色を示し、保太郎が一番恐れていたことが現実になる。 差別は、される方だけでなく、する方も不幸になるという事実を描く。	07.07

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 054	あなたへの 問いかけ (人権教育)	35	成 人	豊中市の小学校での授業参観風景。 子どもの頃に同和教育を受けなかった同和地区内外の保護者が、学校の同和教育について率直な意見や疑問を述べあう、ドキュメンタリー映像。	08.02
ビ 055	分かりあうって 素敵です (人権教育) 《字幕入》	32	成 人	聴覚障がい者の雇用は、大企業を中心に進んでいる。しかし一方で、転職を繰り返す人も多く、背景にはコミュニケーションの問題がある。『聴覚障がい』についての基本的な理解を進める。	08.02
ビ 060	い じ め ～子どもたちを 守るために (人権教育)	60	成 人	◇ いじめの種類・構造 ◇ 発見のための35のチェックポイント ◇ いじめられる子の特徴 ◇ 家庭での対応のよい例・悪い例 実例に基づくドラマから実態を把握し、どのように発見・対応するかを考える。	08.10
ビ 063	紫陽花のころ (人権教育)	30	成 人	同和地区の青年と結婚した恵は、いまだに結婚を認めない父のもとに再三通う。兄は恵夫婦のことで大阪に帰れないと言い、叔母は恵のせいで子どもの縁談がこじれたと言う。偏見に対して毅然と立ち向かう恵の姿を描く。	09.02
ビ 065	職場の セクシャル・ハラスメント (人権教育)	23	成 人	セクシャル・ハラスメントは人間に対する冒涇である。アメリカを例にとり、雇用機会均等委員会のガイドラインと、米最高裁の判例に基づいて解説する。	09.02
ビ 072	職場の男女差別 をなくそう (人権教育)	28	成 人	男女雇用機会均等法改正に際して提案された『ポジティブ・アクション』の理念を学び、職場の女性差別の具体的な問題点を示す。職場の平等は女性のためだけでなく、男女の人間らしい生活の実現につながることを学ぶ。	10.06
ビ 073	セクシャルハラスメント と女性の人権 (人権教育)	24	成 人	男女間において、相手が不快に思う言葉や行為は、程度に関係なく、全てがセクシャル・ハラスメントです。 何故起こるのか、起こさないためには、あった時はどうすればよいか、を具体例を示しながら考えます。	10.06
ビ 074	ふれあい家族 (人権教育)	48	成 人	仮設住宅で暮らす滝田を訪ねて、孫の博がやって来た。仮設で暮らす在日韓国人の李や、車椅子の山岸、震災で妻を亡くした植草たちにふれあい、癒されていく博は、分け隔てなく助け合い、支え合うことを学ぶ。	10.07
ビ 075	おーい！ (人権教育)	45	成 人	長年勤めた経理から営業へ異動した下田は、マンションの建設予定地が同和地区かどうかを調べるために、市役所へ行く。これが大きな問題に発展し、親友の松本までも深く傷つける。	10.07
ビ 076 ①	風と大地と梨の木と 第一章 (人権教育) 《字幕入》	45	成 人	6年前帰郷し、梨作りをしている信彦のもとへ、親友高岡からUターンするという手紙が届く。同和地区出身の高岡について来ない妻。高岡との付き合いを拒む信彦の母。気まずさの中、信彦の子どもたちの試みが始まる。	10.10

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 076 ②	風と大地と梨の木と 第二章 (人権教育) 《字幕入》	40	成 人	信彦の妹カナエが結婚の報告に帰って来た。大喜びの家族に、カナエはできるだけ質素にしたい意向を伝えて、婚約者の写真を見せた。そこには車椅子に乗った青年が微笑んでいた。「考え直せ。」と、家族が詰め寄る。	1010
ビ 079	世界人権宣言 (人権教育)	40	成 人	I. インTRODakション 『人権って何?』 II. 世界人権宣言 III. 日本の人権擁護のしくみと活動 IV. 人権問題に対応する人権擁護制度 V. エンディング 辰巳琢郎さんが、ご案内します。	11.06
ビ 083	言葉と差別 I (人権教育)	18	成 人	偏見や差別心はその人の生き方に現れ、言葉や態度となります。女性差別、『たとえ』が生み出す差別、利害と差別を考えながら、言語感覚を養い、差別語を『使わない』のではなく、『使えない』自分になる。	11.08
ビ 084	言葉と差別 II (人権教育)	23	成 人	「使ってはいけない。」、「別の用語を当てればよい。」では、言葉と差別の繋がりを理解できない。 いじめと差別、子育てと言葉づかい等を例にとり、言葉の歴史や意味、人権との接点を学ぶ。	11.08
ビ 085	言葉と差別 III (人権教育)	23	成 人	1. 差別語が使われてきた背景を知る。 2. 差別語を言い替えることの意味。 3. 差別意識が差別語を生むこと。 4. 差別語を使えない自分になる。	11.08
ビ 088	私たちと人権 【家庭編】 (人権教育)	26	成 人	生活の基盤である家庭に焦点を当て、私たちの意識や考え方について、いろいろな角度から問題を取り上げる。わが家を振り返り、家族で話し合ってみましょう。	11.10
ビ 089	部落の心を 伝えたい (人権教育)	30	成 人	’56年大阪生まれの吉田小百合さんが、自分の生い立ち、父のこと、母のこと、兄のこと、子育て、そして『差別とは何か』、『部落の誇りとは何か』について語る。	12.03
ビ 092	『いじめ』 大人たちへの メッセージ (人権教育)	30	成 人	・ 繰り返される『いじめ』の実態 ・ 手紙による子どもたちの声 ・ 専門家、カウンセラー、医師による分析 ・ 学校と親の責任 『いじめ』を決して許さない大人の姿勢と、責任について考える。	12.03
ビ 098	在日コリアンの 肖像 (人権教育)	45	成 人	共生の時代と言われて久しいが、在日コリアンが本名で生きることさえ、まだ容易ではない。全育愛(チョン ユイ)さんの14歳から7年間の成長を見守りながら、国籍とは、民族とは、そして本名で生きることの意味を考える。	12.06
ビ 099	風化からの告発 (人権教育)	32	成 人	生まれた場所、家族、学歴、性格、宗教、職業等が密かに調べられ、就職や結婚の時に利用されたら、あなたはどうしますか。巧妙なシステムで身元調査を行う企業や、その調査に応じてしまう市民の人権意識を問う。	12.06

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 102	風と大地と梨の木と 第三章 (人権教育)	54	成 人	夫の横暴に耐えかねた志津が、夜更の牧原家にやって来た。志津の夫は地域の有力者で、老人クラブの会長である。牧原家の人たちが、女性への理不尽な差別について考える。	13.02
ビ 103	【在日】 (2本組) (人権教育)	①前半 135 ②後半 123	成 人	前半<歴史篇>日本の敗戦、在日にとっての解放から50年間の映像。 後半<人物篇>～それぞれの在日 在日一世・二世・三世6人の生き方のドキュメンタリー。	13.02
ビ 104	街かどから (人権教育)	24	成 人	収集日ではない日に、ゴミ置場に捨てられた空缶が原因で、バイク事故が起こる。それをきっかけに、偏見や排除の気持ちに気づき、地域で暮らす大人・若者・外国人たちの交流が始まる。	13.11
ビ 108	夢 の 箱 (人権教育)	50	成 人	国際農業交流で出会った、マイラと良治は結婚し、ブドウ栽培をしている。マイラが東南アジア出身ということで、息子の洋夢はいじめに遭い、良治の両親とは交流がない。ある時、台風でブドウが全滅し、良治は落ち込んでしまうが・・・。	14.05
ビ 113	絵のある町 (人権教育)	54	成 人	紀子是大阪郊外の公園で青空保育のリーダーをしている。公園活動を映像に収める大学生亜弥の提案で公園の壁に皆で絵を描くことになった。だが、新メンバーの外国人マリの絵が塗りつぶされ、青空保育の会は存続の危機をむかえる。	15.05
ビ 114	Meet the ヒューマンライツ (人権教育) 《字幕入》	27	成 人	6人の若者たちが、人権問題に取り組む人や、当事者の人たちと実際に会い、話を聞き、事実を知り、率直に話し合う。そして、日常的に無意識のうちに行われてきた言動に潜む『偏見や差別』を自覚していくドキュメンタリーです。	15.05
ビ 115	女性の人権を 考える (人権教育)	25	成 人	ドメスティック・バイオレンス（DV）の被害者、セクシャル・ハラスメントの被害者の実際の体験を聞き、女性差別の根元にある意識を問う。そして私たちの中にも、こうした意識が根強く残っていないかを考える。	15.05
ビ 116	気づくことが はじめの一步 (人権教育)	24	成 人	妻が残業の日、息子の迎え・買い物・夕食の支度と、次々にこなす山田さん。一方、「家事がなおざりになるのなら、仕事辞めるよ。僕の給料だけでもやれるから。」と言う鈴木さん。2つの家庭を対比し、男女共同参画について考える。	15.10
ビ 119	陽だまりの家 (人権教育・アニメ) 《字幕入》	42	成 人	小6の千鶴を連れて離婚した奈々恵は、ホームヘルパーの仕事を始め、一人暮らしの秀子の担当になる。いつのまにか人が集まってくる秀子の家で、いろいろな人と出会い、成長する母子の姿を描く。	16.05
ビ 120	ラブレター (人権教育) 《字幕入》	54	成 人	一人暮らしの内田恵子は、弁当配達をしながら、介護ヘルパーの資格を取るために勉強し、かつて自分も学んだ識字学級の手伝いもしていた。いじめに遭って不登校になった田原こともと知り合い、彼女をなんとか救おうとする。	16.05

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 124	ま・さ・か わたしが！？ (人権教育) 《字幕入》	25	成 人	あなたの身近で似たような事が起こっていませんか。 1 話：仲間の住所等を気軽に教える。 2 話：人を万引き常習犯と噂する。 3 話：ネット上でエスカレートする書き込み。 ドラマを見て振り返ってみましょう。	16.07
ビ 151	善良な人々 (人権教育)	56	成 人	家族の日常を、3 話のオムニバス形式で描き、そこにある『善良』を疑うことから、問題を提起します。	17.05
ビ 152	人権に向き合う ための6つの素材 (人権教育) 《字幕入》	27	成 人	日常を問い直す素材として、6 つの課題を取りあげる。 1 章 男と女 ドメスティック・バイオレンス 2 章 高齢者 老いと尊厳 3 章 障がい者 共生 4 章 正しく知る 報道被害・同和問題・H I V 感染者等	17.05
ビ 153	外からみた わたしたち (人権教育)	27	成 人	日本に住んでいる外国の人たちから見た『わたしたち』を知ることで、社会の矛盾や、人権問題を考え直してみましよう。	17.10
ビ 158	人権感覚の アンテナって？ (人権教育) 《字幕入》	39	成 人	化粧品会社に勤める深津理絵は、人権啓発担当になり、人権侵害・差別に対する社会の無関心という落とし穴に気づく。日常の意識や行動を見直し、自らの人権感覚のアンテナを張り巡らせることで、人と人が繋がっていく姿を描く。	19.05
ビ 159	千夏のおくりもの (人権教育) 《字幕入》	54	成 人	保育士の徹、大学講師の瑠璃、徹が勤める保育園に通っている千夏の三大家族。「男やったらなんであかんの？」「〇〇らしくってなに？」千夏の率直な疑問をきっかけに、世間の常識、偏見、固定観念を問い直す。	19.05
ビ 160	紡ぎだす未来 (人権教育) 《字幕入》	35	成 人	佐藤晃は、ある日父親から祖父母が部落出身者だったことを告げられる。晃の心の変遷を中心に、在日コリアン・外国人・同性愛者といった被差別当事者の日々の想いを描いたドラマ。	19.05
ビ 162	人権と向きあう 違いを認めあうために (人権教育) 《字幕入》	28	成 人	・障がいがある人の“障がい”とは何か？ ・外国人が日本で働くにあたっての障壁について ・ハンセン病に対する根深い差別と偏見 ・過去のものではない部落問題	20.04
ビ 163	人権を行動する (人権教育) 《字幕入》	25	成 人	その時あなたはどうか？分岐点を提示する。 ・セクシャル・ハラスメント ・個人情報の保護 ・部落差別	20.04
ビ 166	パワー・ハラスメントと人権 (人権教育) 《字幕入》	43	成 人	課長に抜擢された斉藤は、課の立て直しのため部下を叱咤激励する。しかし、思うように仕事は進まず、そのストレスは課員の安西に向かう。追い込まれた安西に心身の不調があらわれる。	20.08

ビデオ（人権教育）

教材番号	題名	時間(分)	対象	内容	購入年月
ビ 167	夢のつづき (人権教育・アニメ) 《字幕入》	40	成 人	疎外感をもちながら息子一家と同居している徳治は、振込詐欺騒動で、ニートの結人と知り合う。反発し合いながらも、少しずつ心を通わせる二人の姿を通して、高齢者の尊厳・世代間のふれあい・再生等について考える。	20.08
ビ 168	見えないライン (人権教育) 《字幕入》	55	成 人	課長の是安は幹部候補研修の選抜に洩れ、退職勧告を受ける。娘さやかは就職氷河期に卒業し、契約社員として働いている。識者のインタビューを交えながら、社会に広がる格差・差別の“見えないライン”について考える。	21.04